

1-3>>

# 第3回ワークショップ

会場：上越文化会館

## 第2クールの議論がスタート

住民参加のワークショップ形式による(仮称)厚生産業会館基本設計の検討は、第3回のワークショップから第2クールに入った。第2クールでは、第1クールの議論に基づいて計画された施設の図面や模型を用いながら、「各施設機能の構成・配置」についての議論が行われた。

第3回ワークショップでは、まずはじめに設計者から3つの計画案が提示された。その計画案とは、コンパクトな配置が特徴のA案、各施設機能が分散配置されたB案、中庭を中心に各施設機能がバランスよく配置されたC案である。それぞれの部会では、これらの計画案ごとに使い勝手が良さそうなどところや改善が必要な部分を挙げていくことからスタートし、機能や空間をより良い構成としていくための留意点やアイデアが積極的に出された。第1クールで議論した内容が実際に図面や模型で表現された事で、検討する内容もより具体的になり、参加者同士や設計者との間でもイメージの共有がしやすくなった。特に

各施設機能の大きさや関係性については、活動時の利用人数なども考慮した現実的な議論がされていく中で、限られた空間をより有効に利用して行くためには各施設機能の中でも他の機能の利用者も使えるような「重ね使い」の空間をいかに確保する



公民館部会での議論の様子

2014年2月28日(金)、3月1日(土)

1-4>>

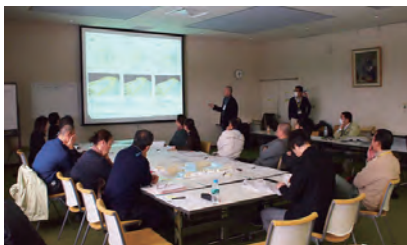
# 第4回ワークショップ

会場：高田地区公民館

かが非常に重要になるということが再認識された。議論の中では、会議室や中高生スペース、子ども施設の大きい子ども用のプレイルーム、リハーサル室や楽屋等が「重ね使い」の主な対象として挙げられた。また、次回に向けて公民館部会やホール部会では、特にホールとその附属機能との動線計画において改善点が指摘された。C案の中庭に関しては、どの部会においても雪対策がクリアできれば非常に魅力的な空間になるのではないかとの期待が寄せられた。



子ども部会での議論の様子



ホール部会での議論の様子

第4回ワークショップでは、第3回での議論を踏まえ修正された計画案が提示された。その際、特に議論の多かった2つの案に絞り込んで議論が進められた。また、より具体的な検討を行うために「重ね使い」の対象となる会議室やスタジオ等の部屋については、実際の使い方パターンが用意され、より具体的なイメージを共有しながら議論が行われた。

今回のワークショップではどの部会でも、高校生にも好評であった中庭があり、ホールと関連機能との動線計画や各施設機能間の連続性もある配置計画などの点で活動の多様性が期待できるC案を中心に議論が展開された。公民館部会では、部屋の利用パターンのイメージ資料を参考にしながら議論が進み、「合唱の練習をするにはピアノが必要であり、練習室ではな

い場所を重ね使いで利用する場合にはピアノを移動する必要がある」、「既存の軽運動室の利用実態をみると、リハーサル室とスタジオは区切らずに、最初から大きな1つの部屋として配置した方がいいのではないか」といった空間の設えや設備の話にまで踏み込んだ検討がされた。子ども部会では、施設の使い勝手に関する詳細な検討に加え、一時預かり室の運営方法や、中庭やテラス等の屋外空間の必要性や設えについても議論された。その中で、「お堀側は気持ちのいい空間なので、(前道路路を)歩行者専用道として整備し、子どもが安心して遊べるようにしてほしい」といった施設と敷地周辺との関係性についての意見も出された。ホール部会では、ホール設計の専門家と音響設計の専門家を招き、冒頭にホール施設の検討において重要となる事柄のレクチャーを受けた。近年のホールの設計手法や事情等を聞き、自分達の期待するホール機能をもう1歩進めて考える機会となった様で、「話が聞けて良かった」などの声も聞かれた。

どの部会においても施設ごとの意見が多くみられた前回までとは異なり、他施設についても配慮した意見が出てきており、複合施設としての活動につながるものとして大いに期待できるものとなった。



子ども部会での議論の様子



ホール部会での議論の様子



公民館部会での議論の様子